

松戸市医師会 会員各位

松戸市医師会会長 川越 正平
在宅ケア委員会担当理事 川越 正平
委員長 石島 秀紀

骨折の二次予防に関する研修会 開催のご案内
(令和4年度 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業 実施報告会)

時下、皆様におかれましては益々ご清栄のことと存じます。

松戸市医師会は、今年度より「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の一部委託を松戸市から受けました。市が有する国保データベースを基に抽出した「リスクを有する高齢者」に対して保健指導を行う事業です（ハイリスクアプローチ）。今年度の事業テーマとして「骨折の二次予防」を選び、医師会の医師が司りつつ、松戸市在宅医療・介護連携支援センターの保健師や管理栄養士が担当する形で事業を進めています。取り組みを通じて、フレイルやサルコペニア等を含む転倒リスクの実際例を数多く把握し指導する経験を重ねつつあります（裏面：事業で経験した「リスクを有する高齢者」の例）。

本事業を通じて得た知見は、内科、外科、整形外科等の外来患者が潜在的に有しているリスクであり、かかりつけ医が転倒・骨折や誤嚥性肺炎など患者に生じうる重大疾病やトラブルを防止するための生活指導や治療方針立案に際して役立つという手応えを感じています。

この間、「かかりつけ医の機能強化」についての議論が社会保障審議会をはじめとした会議体等で進められています。今通常国会に医療法改正案が提出される方向とのことです。このような流れも踏まえて、松戸市医師会として、我々かかりつけ医が果たす診療内容の向上や相互研鑽を目的とする研修会を今後継続して企画していきたいと考えており、今回はその第一弾として位置づけられます。

つきましては、多くの会員の皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

日 時 令和5年3月7日(火) 午後7時から9時
開催方法 衛生会館での会場参加と Zoom ビデオウェビナーでのハイブリッド開催
*会場参加には事前申し込みが必要です(先着30名まで)
対 象 松戸市医師会会員、松戸市内で保健・医療・介護に従事する専門職、行政職等
専門的助言者 竹内 靖博(虎の門病院副院長/前日本骨粗鬆症学会副理事長)
総括発言 吉田 学 (多摩大学医療・介護ソリューション研究所客員教授/前厚生労働事務次官)
申込期日 2023年2月21日(火)
申込方法 右QRコードをスマートフォン等で読み取り申込フォームよりご登録
いただくか、松戸市在宅医療・介護連携支援センターのホームページ
からお申込み下さい。

(<https://matsudo-zaitaku.org/>)

※個人での申し込みが必要です。団体での申し込みは出来ません。

※携帯会社のキャリアメール(@docomo.ne.jpなど)には当方からの返信メールが届かない場合があります。

必ず(@matsudo-zaitaku.org)からのメールを受信できるように設定してください。



【お問合せ】

事務局 松戸市在宅医療・介護連携支援センター
電 話 047-701-7533 FAX 047-701-7535
担 当 フレイル予防事業担当者

事業で経験した「リスクを有する高齢者」の例

糖尿病性腎症・網膜症のあるやせ型の 76 歳女性

～サルコペニア対策へのギアチェンジが必要～

高血圧・気管支喘息・不眠症・過活動性膀胱で多医療機関に通院中の 78 歳女性

～亀背があり骨粗鬆症は未治療～

大腸がん術後フォロー中に 10 数年の経過でやせが進行した 78 歳女性

～歩行時のふらつきがあり亀背を認める～

高血圧・脂質異常症・糖尿病のある BMI 正常の 77 歳女性

～もの忘れがありポリファーマシーに該当する～

高血圧・脂質異常症のある BMI 正常の 78 歳女性

～会話や行動に落ち着きがなく転倒リスクとなりうる注意力の低下が疑われる～

ADL が自立した脂質異常症の 78 歳男性

～MCI が疑われる妻が食事を作らなくなり本人のフレイルが進行するリスクが上昇～

膝に痛みがあり杖歩行をしている糖尿病・脂質異常症の 76 歳女性

～サルコペニアに対するリハビリテーション栄養が必要だが運動負荷は痛みへの配慮を要する～

活性型ビタミン D 製剤を内服しており股関節に痛みのある 77 歳女性

～椎体骨折の既往があり骨粗鬆症治療の最適化が必要であるが歯周病治療がなされていない～

複数回の骨折歴がありビスフォスフォネート製剤を処方されている 77 歳女性

～肺がんで化学療法継続中／悪液質に備えてサルコペニアの進行を抑止したい～

実施報告会ではこのような事例から得た知見をお示しする準備を進めています